

寺  
こよみ

四月

- 一日 ほっこり法座  
 六日 清掃奉仕  
 一〇日 黒西組仏婦総会  
 一六日 ほっこり法座

## 花まつり

一七日午前九時

花かざり

一八日午前十時

花まつりマルシェ

※初参式（午前十時）

に参加希望の方はお寺までご連絡ください。

二八日 行信講座  
正信偈に学ぶ

初参式（しょさんしき）

小学校の卒業式で祝辞を述べました。これから人間関係を築いていくことを考え、小児科医の熊谷晋一郎さんの言葉を紹介しました。一部紹介させてもらいます。

自立して生きるというのは、誰にも頼らず、ただひとりで生きていくことのように思われがちですが、本当はそうではなくて、たくさんの依存先をもつことだと熊谷さんは言います。

私たちは、あまりにもたくさんものに依存しているから、何にも依存していないと錯覚してしまいますが、じつは、あらゆるものに支えられて生きています。熊谷さんが親なしで生活できるように独り暮らしが始めたのも、親からの自立ではなくて、親以外にも依存先を増やしていくことだつたのです。

みなさんはこれからも

## 花まつり

お釈迦様のご誕生をご縁に

四月十八日午前十時

## 頼る力

「自立とは、依存先を増やすこと。希望とは、絶望を分かち合うこと」

尊敬します。

少しお余裕がある時は、困っている人に手を差し伸べられる心をもちます。そして、自分に

いろいろな経験をしていきます。まわりが見えなくなるぐらい何かに熱中したり、誰かを大好きになつたり、それはとてもステキなことですが、依存先がひとつに偏ると、とても危ない時があるので気を付けて下さい。

# 新年の行事

一月一日

除夜の鐘と年頭参りは、おでんの振る舞いを取止めて行いました。参加者の少ない年になりましたが、恒例行事を滞りなく行いました。



## 御正忌報恩講

一月十五～十六日

親鸞聖人の祥月命日につとまる御正忌。今年は大雪後の厳しい状況の中での開催となりました。法話は、初日に法輪寺の

高島有哲さん、二日目は照行寺の神子巧照さん



# ほつこり法座

お講の活性化を目的に

リニューアルした「ほつこり法座」が三年経ちました。これまでに四十四回行い、参加者名簿は百八十名、毎回平均二十名ほどの参加者がお参りくださっています。ほつこり法座以前からお参りくださっている西中和子さんは最多の三十九回。十回以上の方も二十六名になりました。お試しに

一回参加された方も多くさつた九十名に絞ると、門徒率は三六%ですが、二回以上参加してくださった九〇名に絞ると、門徒率は四十五%になります。まだ参加されたことのない方はぜひ一度足をお運び下さい。

コロナ禍ではコミュニケーションの場になつている会食やティータイムを積極的に行えず残念ですが、回復の兆しも見え

法話は本堂で行います。法話は担当しました。



3/16 講師：雪山俊隆



3/1 講師：奥野寛暢先生



2/1 講師：今小路覚淳先生



2/16 講師：日下賢裕先生

# 仏婦役員会

三月四日

令和3年4月1日

177号

寺報 善巧



浦山地区と下立愛本地区の役員方が集まって役員会が行われました。今年はコロナ禍を考慮して総会は取止め、役員会で前年度と今年度の行事、ならびに会計について話し合われました。前年度は、富山教区や黒西組の行事はほとんどが中止となりましたが、今年度から徐々に再開される予定です。善巧寺においても、コロナ対策を講じながら、行事を進めていく予定です。

浄土真宗のお寺では長い歴史の中で育まれた独自の言い回しや専門用語がたくさんあります。その一部を紹介します。

## 浄土真宗の用語紹介

阿弥陀仏の極楽淨土  
他力(たりき)

阿弥陀仏が私を救う力  
お念佛を喜ぶ

阿弥陀仏の救いを受け入れて喜ぶこと  
お呼び名編

お同行(どうぎょう)  
お参り仲間

一日 東福・上野お講  
一六日 ほつこり法座

一日 静かな演奏会

一日 ほつこり法座

寺ごよみ  
五月

ほつこり法座  
展示会(30日まで)

ほつこり法座  
特別対談

静かな演奏会

一日 ほつこり法座

## お釈迦様の誕生月間

四月はお釈迦さまの誕生日です。本堂に釈迦像を設置しますので、甘茶かけにどうぞお立ち寄り下さい。



第12回  
正信偈に学ぶ

講会日時  
四月二十八日(水)  
講師場所  
白雪山善巧寺  
主催  
天岸淨圓先生  
参加費  
2千円  
(僧侶五十円)

本願寺系制教  
行信傳法會  
白雪山善巧寺  
会員登録の流れ  
お申込の際ある場合はお控え下さい  
※マスクの着用を強制します。

## 納骨壇状況

現在、11箇所が埋まりました。生前予約は納骨後から日数を換算します。ご検討の方はお寺までご相談ください。



## ほつこり法座

さとりと念佛

四月一日午前十一時

講師：瓜生 崇

五濁の世を生きる

四月十六日午前十一時

講師：飛鳥寛暢

仏の形～莊嚴と作法～  
五月一日午前十一時

講師：雲林重正

民藝に宿る南無阿弥陀仏

五月十六日午前十時

太田浩史×林口砂里

長女の華依が小学校を卒業しました。最後の一年はコロナ禍に入り、行事の中止や縮小が続き心配しましたが、与えられた環境の中で力いっぱい楽しんでいる姿がとても心強く感じました。子供より大人のほうが不安で、場合によってはその不安を伝染させているのかもしれませんね。

※ ※ ※

## 花かざり

四月十七日午前九時

## 正信偈に学ぶ

四月二十八日午後一時半

講師：天岸淨圓

展覧会「民藝に宿る  
南無阿弥陀仏」五月十五日～三〇日  
(火曜定休)

※敬称略

柳宗悦は、民艺には富山の地、そして浄土真宗の教えが深く関わっていると見出しました。民艺も佛教も私たちの生活を離れて存在するものではありません。それをテーマにした展示会を行いますので、興味のある方はぜひ参加下さい。

合掌